

フィージビリティ調査実施状況について

環境省環境リスク評価室

1. 目的

○平成 22 年度以降の本格実施のために、調査実施のフィージビリティを確認し、小児環境保健に関する検討会及び小児環境保健に関するワーキンググループに実施上の問題点等をフィードバックし、詳細設計に活用する。

(調査実施のための体制整備、協力医療機関・自治体・関係機関との調整、リクルートの実施(インフォームドコンセント、調査票、生体試料採取)、出生時の対応)

○生体試料の分析可能性について確認する。

2. 実施状況(平成 20 年度～)

<生体試料の分析可能性について検討>

①北海道大学 予防医学講座公衆衛生学分野
生体試料分析のフィージビリティについて

②東北大学 環境保健医学
生体試料分析のフィージビリティについて

<本格調査のためのフィージビリティ調査(パイロットスタディ)>

③自治医科大学

④九州地区
産業医科大学
九州大学
熊本大学